令和6年度

信州ESDコンソーシアム成果発表&交流会

神奈川県立有馬高等学校1年7組 A班への質問・感想

- ・ 教育の貧困、あるいは教育格差の打開に向けた活動を継続できるよう期待しています。
- ・ 発表ありがとうございました。SDGsを広めていくことはとても大切なことだと考えました。リーフレットは作成後どこかに配布したりしたのでしょうか？
- ・ 貧困と教育についてしっかりデータが調べてあり、自分たちができる方法が具体的に示していることが素晴らしいと思いました。SDGsアクションによってどのようなことが変わるのかが考えられていてよいと思いました。探究学習を通じて考えたことが書かれていて良いと思いました。
- ・ 世界中の子どもたちの教育環境について、現状の課題を調査した結果を踏まえて、それを解決するためのSDGsアクションをより広めようと探究していて素晴らしいと感じました。HURTというのは知らなかったので、とても興味深かったです。
- ・ 単に募金をするだけでなく、そのお金の使い方まで考案しているのが良いと思った。より具体的に考えると、実現可能な事や不可能な事が見えてくると思うが、より理想に近い現実をつくれるようにこれからも多角的な視点をもって考えて欲しいと思う。
- ・ 識字率に着目して話を進めており、識字率を上げるための一つの方法としてポスターをはることが効果的であるというところに着目しており、面白かったです。また、英語のポスターにすることでいろんな人に届くと思うのでいいと思いました。
- ・ HURTというわかりやすい言葉でSDGsを達成するための目標をまとめていて、それをリーフレットにしていることでさらに様々な人にわかりやすくできていると思いました。自分たちができること、に取り組めていて素晴らしかったです。
- ・ SDGsの目標でもある教育の機会について知ることができました。実際に学校に通えていない人たちがたくさんいることに驚きました。また、ポスターを貼るという取り組みが良いと思いました。最近発達しているICTやSNSを活用することで若い人たちにも声が届くのではないかなと思います。
- ・ SDGsはどこか他人ごとであり、軽視している部分がありました。しかし、自分ができることを探し実践できたらいいなと思いました。私は将来教師になりたいのでSDGsの目標であるすべての子どもに勉強をというのを達成できるようにこれから勉強に励みたいと思います。
- ・ 「貧困による教育への影響」について、SDGsや私たちには何ができるのか、といった観点からアプローチしていたのがとても印象に残りました。「識字率」に注目して、募金を募り、ポスターを配布したり字が読めない子どもたちへ教材を配布したりといった活動を行うといったアイデアを考えたり、そのような対策の方法を広めるための取り組みについて考えている姿がとても素晴らしいと感じました。また、課題を世界に広めるために「HURT」といったリーフレットを実際に作成したといった自分たちで行動を起こす力についても非常に感銘を受けました。
- ・ シンプルで伝えたいことが伝わりやすいリーフレットだと思います。このリーフレットが多くの人の目に留まってほしいと思いました。また、探究のテーマ、テーマの根拠、目標、方法について述べられていていいと思いました。
- ・ 有馬高校A班の皆さんは、学習についての探求をしており、世界の現状や学習をすることの大切さなどがよく調べられていてとても良いと思いました。これからも、世界に目を向け、様々なことを学んでいってほしいなと思いました。
- ・ 実際に貧困率のグラフを挙げており、視覚的に理解しやすくてとてもいいと思った。また、ただ調べて発表するのではなく、対策や方法を考えており良かった。また、実際にリーフレットを作っており、調べて、対策や方法を考えるだけでなく、実際に行動に移しておりとてもいいと思った。
- ・ SDGs目標を達成するためにいろいろな解決策が提示されており、自分でもできるSDGs達成に向けた行動を試してみようと思いました。その中でも寄付やプラスチックの使用を削減は自分の心がけでできるので意識して生活しようと思います。
- ・ 11億人も貧困の人々の人数が減っていたことをはじめて知って驚いた。教育を受けられないことへの具体的な解決策、たとえば募金やポスター制作など自分たちで実施できることをしっかりと考えていてよいと感じた。
- ・ 現状置かれている問題の把握と、そこからできる問題解決方法を考え、さらに、それがもし行われた際の効果までを考えているところがすごいと思った。また、提案だけで終わることなく、実際に活動し、ポスター制作まで行っているところが、言葉だけでなく実際行動でも問題解決に取り組んでいるのだとわかってすごいと思った。
- ・ 募金という手段をどうやって成功させるかという観点で考えていたのが興味深かった。とても面白かったので、もっと具体的に、どうすれば募金でより多くのお金を集められるのかを考えることによって、より考察が進むのではないかと提案する。
- ・ 募金活動など積極的に取り組んでいるところがいいと感じた。世界には勉強したくてもできない子供たちがいるというところに目をつけるのはとても重要なことで、全世界の子供たちがきちんとした教育を受けれる世界を作れるように頑張りたいと感じました。
- ・ 貧困による教育への影響について自分たちが出来ることとして、募金による教育支援を挙げ、それによって子どもたちの教育機関への介入やポスターの配布、教材配布などに繋げることが出来ることと調べ、アクションを起こしているのが素敵だと思いました。SDGsアクションが広がることでどんな変化が起こるか想像してから活動している点が特に凄いいと思いました。まずは現状や課題を知り、自分に出来ることを行っていくことが必要だということが伝わり、私自身も考えて出来ることから始めていきたいと思いました。
- ・ はじめにデータを用いて、そこから展開していく形でよかったです。現状と対策、提案がしっかりしていました。SDGsアクションを広める方法や、Hurtリーフレットもよく考えられています。今後の活動を楽しみにしています。
- ・ 貧困と教育のテーマは私も興味があったので、聞いていてとても楽しかったです。勉強をしたくても出来ない子供たちのことをしっかりと考え、できる支援をしていくことが必要になってくると感じました。その中でも募金というものが一番身近な支援方法であると分かりました。

- ・教育学部にいる私は、世界の教育普及についてとても関心がある。それを考える上でとてもいい機会になった。読み書きができないと、仕事をするのも難しく、結果的に貧困の連鎖が起きてしまいかねない。教育を受けられていない人の支援はもちろん、日本などの整っている場所でも質のある教育ができるように、教育者側も成長していくべきだと思った。
- ・SDGsの現状やどのくらい改善されてきているのかについてわかりやすかったです。またSDGsを達成するために私たちがどのようなことで協力できるのかについてまとめてくれていてよかったです。募金は気軽にできるので自分もやっていきたいと思った。ありがとうございました。
- ・教育を受けられないと薬やアレルギーなど生活していく上での安全が得られないことや職に就けないことなどの影響があるので、減少しているとはいえまだまだたくさんいる教育を受けられていない子供たちのために、自分にも出来ることをしていきたいと思いました。たくさんの人に現状を知ってもらい改善するためSNSでの募金の呼びかけやポスターを掲示することなどは良いアイデアだと思いました。
- ・SDGsの現状を調べてその問題に対する解決方法を考えていてよかったです。さらに、多くの人とその支援に参加できるようにするにはどうしたらよいかなど、SDGsの活動がどうやったら広められるのか考えられていてよかったです。
- ・貧困は世界の大きな課題の一つであると思うし発表であったような対策を実践することはとてもいい取り組みであると思います。まずは自分にできることからコツコツと実践していくことが大切だと思いました。HURTこれはとてもいいテーマだと思った。自分も進んで募金をしていこうと感じた。
- ・スライドが見やすく作られていたので、発表の内容を理解しやすかったです。事前によく調べて発表の準備を行ったことが伝わってきました。知らなかったことや、新しく知ったことがたくさんあったので、参加することができてよかったです。ありがとうございました。
- ・「HURT」のリーフレットのアイデアはとてもいいものだと思います。教育を受けることができない子供たちの状況をしっかり表すことができていると思います。探求学習を通じて得た学びはこれからの人生に生かして行ってほしいと思います。
- ・募金による教育支援で自分たちの出来ることを考えられていて良かったです。まずは知ってもらうことで認知してもらい、自分事として考えてもらうことが重要だと改めて思いました。今まで字が読めることの重要性について考えたことが無かったのでいい機会になりました。
- ・世界の貧困について、SDGsを活用して解決方法を考えていて分かりやすかった。「SDGsアクション」を広げていくためにも、すべての人が十分な教育を受けられる環境を整えていくべきであると感じた。私は将来、教員になりたいと考えているので「SDGsアクション」を広げていけるよう努めたい。
- ・世界の教育がどのような状況で、どのような問題があり、どのように解決したいのかという内容がわかりやすい発表でとてもよかったです。SDGsアクションを広めるために、実際にポスターを作りインターネット上で公開して行動に移しているのが素晴らしいと感じた。これからも、世界の教育が改善できるように活動して行ってほしい。
- ・世界的に、貧困がどのようにして教育に影響をもたらしているかというのがわかりやすくまとめられていて良い発表だと思った。日本国内でのSDGsの普及だけでなく、世界的にどのようにしたらSDGsが普及していくのか考えられているのがすごいと思いました。
- ・世界の貧困問題を解決するためにSDGsを活用する方法がわかりやすかったです。SDGsアクションを広げるためには、すべての人が教育を受けられる環境を整えることが大切だと感じました。私は将来、教員としてその活動を支援し、SDGsアクションを広げるために尽力したいと思います。
- ・教育を受けることができない子どもたちの状況をみんなに広めて、助けてあげたい気持ちを込めて作ったということで自分たちが何か行動しようという思いは素晴らしいなと思いました。また、募金がどのように使われていたのかを自分たちで確認するというのも大切ななと思いました。
- ・世界の貧困率は昔より減少しているけれど、まだまだ貧困問題を抱える国は沢山あるということが分かりました。「SDGsアクション」を広げる方法として、ポスターを作成して、街に貼るということは良い方法だと思いました。しかし、教育を受けられない子どもたちがいることは分かっても具体的な支援がポスターから読み取ることが出来ないのも、募金先なども書くとより良くなると思います。
- ・SDGSアクションを広めるためにポスター作りや募金活動など身近なことからできることを探しているのがとてもいいと思いました。世界では勉強をしたくてもできない子供たちというのは良くなくじぶんも小さなことから意識して取り組んでいこうと思いました。
- ・発展途上国等に対して、募金を効果的に行い、様々な教育の支援を行うという考え方がとてもいいと思いました。しかし、募金では根本的な問題は解決しないため、支援を必要としている地域の人々が自ら稼ぐ手段を構築する手助けをすることが一番寄り添った形での支援なのかもしれないと思いました。
- ・私も募金が具体的にどのようなことに役立っているのかを知らなかったのも、この発表内容はとても勉強になりました。また、募金の仕組みを知ることは募金の促進に繋がると思うので、この発表は今回の発表を聞いていない他の人にも是非聞いてもらいたいと思いました。
- ・自分たちでHURTという目標を作って貧困で困っている子どもたちの現状を考えていくことで何が必要なのかを自分たちで考えて、募金を実際に自分たちで行うことで、そのような子どもたちに対する支援の必要性、重要性に気づくことができているいいと思いました。
- ・貧困によって教育を受けることが難しい人たちにとっての支えとなるようなテーマで、まずとても感心しました。募金などの身近にある支援方法はたしかにもっと生かされていくべきだと感じた。これからは誰かのために何かを考えることを意識し続けてほしいと思いました。
- ・世界の「貧困による教育への影響」というテーマで、識字率に着目し、ポスターや募金といった具体的な対策や、実際的な問題点について言及されており、ただ考えるだけでなく、行動を起こすことを想定した活動を行っていることに大変感心しました。
- ・SDGsについての発表で、特にHURTが印象的であった。また募金の意味についても言及しており、今まで深く考えてこなかった部分に対して、色々気付かされることがあった。今後の学校生活もHURTの心を持って頑張ってください。応援しています。
- ・教育を受けられない子ども達がいる現状を知ったことで、授業の中で自分たちで探究活動を行い、それをリーフレットにまとめて発行しようとする行動力。素直に素晴らしいと思いました。配布はまだとのことでしたが、リーフレットを作るまでに辿った探求の軌跡は、将来社会で活動していくにあたり必ず大切なものとなります。素晴らしい発表をありがとうございました。

- ・ この発表を聞いて、教育が受けられないことが個人の生活だけでなく、社会全体に大きな影響を与えることを改めて実感しました。文字が読めないことで日常生活に支障をきたすだけでなく、将来の職業選択の幅が狭まるという現状は深刻です。募金や教材提供などの支援活動の重要性を理解し、自分たちにもできることがあると感じました。こうした取り組みを広め、継続することは非常に大切だと思います。